



ごあいさつ

名古屋市立大学大学院経済学研究科は、1968年に設立されました。その後、1989年度に、わが国で初めて夜間社会人大学院（修士課程、日本経済経営専攻）を開設し、2008年度には経済学専攻と経営学専攻の2専攻体制に整備しています。時代の要請にこたえる形で常に進化をつづけており、2016年度からは医療関係者を対象とする「医療経済マネジメントコース」も開設しています。また、経営学専攻においては経営学の学位を取得できるようになり、経営学修士・経営学博士の道も開かれています。さらに、2020年度からは経営者（経験者を含む）を対象とする「経営者コース」を開設しています。本研究科は設立以来、90名の博士号、903名の修士号を授与して参りました。学位取得後、大学教員や研究者となっている者も多く、一般企業、官庁や専門職に就き、それぞれの分野において活躍しています。

世界経済のグローバル化、ICT技術の急激な進歩、先進国の少子高齢化、世界的な経済格差の拡大など、社会環境は時々刻々と変化し、より一層の激しさとスピード感を増しています。こうした変化に対応するには1人1人がさらに高度な専門知識を身につけておく必要があり、経済学や経営学はそのための重要な学問分野であります。本研究科の教員スタッフは経済学・経営学各分野の優秀な研究者であり、皆さんの学びをサポートし、皆さんとの学びに情熱を注ぐプロフェッショナルです。是非とも、本研究科に入学して経済学・経営学をより深く学び、社会や時代の変革を乗り越えて、さらなる飛躍を目指してください。

経済学研究科長 **吉田 和生**

博士前期課程・社会人特別選抜 実務直結の2コース開設

時代に即した大学改革を進める中であって
社会に貢献する経済学研究機関として新たなステージへ

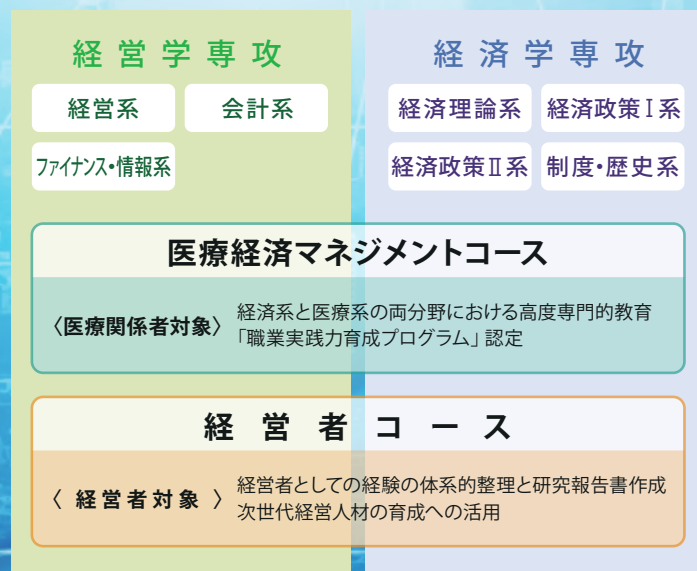
医療経済マネジメントコース

医療経済マネジメントコースは2016年に開設されました。医療関係者を対象として、経済学・経営学に関連する高度専門的教育を行っており、文部科学省の「職業実践力育成プログラム（BP）」に認定されています。このコースでは、経済系（経済学・経営学）と医療系（医学・薬学）の両分野にわたる充実した講義科目を履修することができます。また、医療経済・医療経営・医療会計の専門的スタッフ（兼任教員）による研究指導を受けることができます。

経営者コース

経営者コースは2020年に開設されました。本コースは、企業やNPO団体をはじめとする様々な組織の「経営者」を対象に、経営や経済の制度および歴史にかかわる高度な専門的教育を行うとともに、それらのフレームワークを用いて「経営者」のもつ貴重な経験を理論、実践の両面においてより有用な情報、知見へと昇華させることを目的としています。この目的のために、本コースでは、経営学、制度経済学や経済史などの多様な分野の教員による研究指導を受けることができます。

経済学研究科



研究支援

長期履修制度

仕事や家事・介護のため、通常の2年間での修了が困難な方のために長期履修制度があります。希望者は、入学時もしくは2年進級時に所定の手続きにしたがって長期履修を申告し、それが認められれば、2年間分の学費で3年間在籍できます。

昼夜開講制と集中講義

博士前期課程の授業科目のほとんどは、1年ごとに昼間・夜間交互に開講されます。また集中講義も設置されており、平日の昼間に履修できない社会人の方の中には、夜間と土曜日の履修のみで修士号を取得する例もあります。

修士論文とリサーチ・ペーパー（R P）

博士前期課程の修士学位の取得のためには、修士論文1編もしくはR P 1編を作成する必要があります。高い専門性を備えた修士論文に代えて、講義科目の内容を深めたR Pを作成することで学位を取得できます。

早期履修制度※

優れた業績を上げた場合、1年間で本研究科博士前期課程を修了できます。また、博士後期課程では、一定の研究業績を有する学生について最短1年で修了し、課程博士の学位を取得できる早期修了プログラムを用意しています。

学位授与数

【近年の状況】（ ）内の数字は、うち博士後期課程進学者（単位：人）

	博士前期課程			博士後期課程
	一般・外国人	社会人	計	
2016年度	14	10	24 (2)	2
2017年度	9	8	17 (0)	3
2018年度	6	16	22 (1)	3
2019年度	4	14	18 (2)	0
2020年度	11	13	24 (1)	3

博士前期課程修了者（社会人以外）は、金融業、メーカー、情報サービス、会計事務所、国家・地方公務員などに就職しています。また博士後期課程に進学する方もいます。博士後期課程修了者の中には、研究者として活躍している方（岐阜大学、中央大学など）もいます。

研究活動

附属経済研究所

グローバルな視点から地域経済の研究を進める目的で、1996年に設立されました。教員および大学院生が参加するプロジェクト研究や、公開シンポジウム、研究セミナーなどを行っています。

火曜研究会

学内外の教員および大学院生による月1回の研究会が開催されています。英語でのワークショップも行っています。

入学前既修得単位認定制度

入学前に、本学大学院または他の大学院等において履修した授業科目における既修得単位（科目等履修生として修得した単位を含む）について、一定の範囲で本研究科前期課程において修得したものとして認定する制度があります。

他大学院との単位互換※

本研究科では、名古屋大学、名城大学および名古屋工業大学と単位互換の協定が結ばれています。これらの提携大学で履修した単位は、本研究科教授会にて単位の認定を行います。履修可能な科目は、毎年度4月と9月に掲示されます。

同窓会組織

寄付講座の提供など在校中および卒業後の活動を支援する同窓会組織として、社会人修了生を中心とする剣陵会があります。

注：医療経済マネジメントコース、経営者コースにおいて※の制度は対象外となっています。



【総数】（2021年3月現在）（単位：人）

修士	一般・外国人	412	903
	社会人	491	
博士	課程博士	69	90
	論文博士	21	



経済学専攻

経済理論、経済政策 および制度・歴史の アカデミズムを求めて

現在われわれを取り巻く経済環境の変化は急速です。少子高齢化やグローバル化の進展というトレンドの中で、自然災害からの復興、財政赤字の深刻化など日本経済は多くの難問を抱えています。こうした諸問題に対し、経済学のオーソドックスな分析方法を基礎として多面的に接近することが経済学専攻の特徴です。

本専攻はミクロ・マクロ経済学の理論的發展を目指す「経済理論系」、財政金融政策に関わる実践的問題を取り扱う「経済政策Ⅰ系」、国際経済政策・産業政策などのあり方を探る「経済政策Ⅱ系」、経済システムの多様性と変化を追究する「制度・歴史系」の4つの系から成り立っています。多様な見地に立つ4つの系の存在により、幅広い問題意識に応える専門知識や分析能力を身につけることが可能です。

主なリサーチ・ペーパー（RP）、修士論文、博士論文のタイトル、教員一覧

医療経済マネジメントコース所属教員

経営者コース所属教員

経済理論系

- RP** 自治体病院と一部事務組合病院について
ー公立陶生病院の事例研究ー
- 修論** チーム医療のインセンティブ設計
ー米国Group Practiceの経済学的分析からの学びを
日本のチーム医療へ展開するー
- 修論** 大都市既成市街地（名古屋市区别）における
人口変動の住宅地価への影響
- 博論** 経済成長要因
ー中国地域経済及びクロスカントリーの分析ー
- 博論** 不完全所有権と非慈善的経済政策の下での要素移動

- 岡野 衛 士**
専 門 分 野：マクロ経済学
開放マクロ経済学
担 当 科 目：金融論
現在の研究課題：開放経済での金融政策
- 澤野 孝一郎** 
専 門 分 野：ミクロ経済学
応用ミクロ経済学
担 当 科 目：ミクロ経済学、医療経済学
現在の研究課題：医療・航空・公共サービス

- 各 務 和 彦**
専 門 分 野：ベイズ統計学、応用計量経済学
担 当 科 目：計量経済学
現在の研究課題：ベイズ統計学の方法論と応用
- 外 谷 英 樹**
専 門 分 野：マクロ経済学、経済成長論
担 当 科 目：マクロ経済学
現在の研究課題：自然災害による被害と
経済発展の関係についての研究

- 川 端 康**
専 門 分 野：国際貿易論
担 当 科 目：国際経済学
現在の研究課題：貿易政策の理論分析
- 山 田 恵 里**
専 門 分 野：都市経済学、地域経済学
担 当 科 目：都市経済学
現在の研究課題：産業クラスターと地域経済の
生産性に関する研究

経済政策Ⅰ系

- RP** 看護師の限界生産力と賃金との乖離
- 修論** 法人税法における交際費課税制度の考察
ー企業活動への影響を中心にー
- 修論** 消費税法における事業者免税点制度に関する一考察
ー益税問題と課税売上高の判定基準を中心としてー
- 博論** 生活基盤型の社会資本および公共投資に関する
実証的研究
- 博論** 大都市自治体における財政の規律と行政評価
ー名古屋市を中心とした分析と考察ー

- 濱 口 泰 代**
専 門 分 野：実験経済学、公共経済学
担 当 科 目：実験経済学
現在の研究課題：リニエンシー制度の談合抑止
効果に関する実験研究
- 湯之上 英雄**
専 門 分 野：公共経済学、地方財政論
担 当 科 目：地方財政論
現在の研究課題：公共政策の実証分析

- 平 賀 一 希**
専 門 分 野：公共経済学、財政学
マクロ経済学
担 当 科 目：公共経済学
現在の研究課題：消費課税の理論・実証分析
- 横 山 和 輝**
専 門 分 野：金融論、経済史
担 当 科 目：金融政策論
現在の研究課題：金融発展と人的資本形成の
歴史分析

- 森 田 雄 一**
専 門 分 野：経済理論、財政学
担 当 科 目：財政政策論
現在の研究課題：所得分配と経済成長

経済政策Ⅱ系

- RP** 留保金課税と内部留保の活用の検討
- 修論** 水道事業の規模の経済性の再検証
- 修論** 日本のODAがインドネシアの経済成長に与えた
影響の考察
- 修論** 親の所得階層が子どもの所得、幸福度に及ぼす
影響の分析
- 博論** 震災による電力供給制約が我が国の経済に与える
影響に関する応用
- 博論** フードサプライチェーンにおける需給調整と食品ロス
の発生メカニズム

- 板 倉 健**
専 門 分 野：国際経済、貿易政策
担 当 科 目：国際経済関係論
現在の研究課題：グローバル CGE モデルの
応用と開発
- 山 本 陽 子**
専 門 分 野：労働経済学、社会保障論
担 当 科 目：社会保障論
現在の研究課題：ワーク・ライフ・バランスと女性の
就業、所得格差への影響の分析

- 内 田 真 輔**
専 門 分 野：環境経済学、応用計量経済学
担 当 科 目：環境資源経済論
現在の研究課題：気候変動の経済分析
資源分布と経済成長
- 和久津 尚彦** 
専 門 分 野：産業組織論、医療経済学
担 当 科 目：医療産業論
現在の研究課題：イノベーションおよび薬価制度の
あり方に関する経済分析

- 中 山 徳 良** 
専 門 分 野：産業組織論、公益事業論
担 当 科 目：産業組織論、医療経済評価
現在の研究課題：規制産業の効率性・生産性に
関する研究

制度・歴史系

- RP** スウェーデン福祉国家の形成に関する諸学説
- 修論** 戦時期における豊田業団の事業展開
ー綿紡績業の企業整備と軍需転換をめぐるー
- 修論** 中国における日系企業の現地化に関する一考察
- 博論** 地方型アパレル産業の形成と発展
ー産地企業の協調と競争・組織能力ー
- 博論** ハイブリッド車／電気自動車の開発と企業間関係
ー基幹技術のアウトソーシング・マネジメントー

- 木谷 名都子** 
専 門 分 野：外国経済史
担 当 科 目：外国経済史
現在の研究課題：20世紀前半におけるイギリス
帝国と日本の経済関係
- 山口 明日香** 
専 門 分 野：日本経済史
担 当 科 目：日本経済史
現在の研究課題：日本の産業化と資源・
エネルギー利用

- 平 野 大 昌** 
専 門 分 野：労働経済学、応用計量経済学
担 当 科 目：労使関係論
現在の研究課題：企業の生産性と労働環境の
関係についての研究

- 藤 田 菜 々 子** 
専 門 分 野：経済学史、制度経済学
担 当 科 目：経済学史
現在の研究課題：ゲンナー・ミュルダールの
経済学説の研究



佐野 翔一 さん
（経済学専攻）

VOICE 修了生の声

大学院で学んだこと

私の研究テーマは地方銀行の店舗分布です。もともと私は経済学部出身ではないのですが学部時代にこのテーマに興味を持ち経済学研究科の門を叩きました。大学院では、先生方に指導していただきながら経済学を一から学び、研究を進めることができました。また、就職に関しても就職支援室をはじめ多くの方々に支援いただき無事就職することができました。私は総合大学である名古屋市立大学大学院に進学し先生方をはじめ多くの方に会い、学ぶことができてとても有意義な時間を過ごすことができました。



中村 圭吾 さん
（経済学専攻）

VOICE 修了生の声

迷わず進め、大学院へ

学び直しをするのに、年齢は障害ではないのだ、これは入学後の実感です。社会人として仕事をしながら、2年間で論文作成ができるのか。勤務後、毎日授業に通うことができるのかと心配しましたが、本学は昼夜開講制を取り、昼間履修ができない社会人でも、平日夜間と土曜日、夏期の集中講義を履修して、2年で修士の学位を取得することが可能です。指導教員には、夜間じっくりとご指導をいただき、教室と研究室、図書館を巡り、2年間で充実して過ごすことができました。私の研究テーマは、医療保険財政です。地方行政の現場で、国保や高齢者医療のコスト問題を考えています。改めて経済理論を学び直し、今、充実して毎日の仕事を進めることができています。迷わず進め、大学院へ。



経営学専攻

実践の背景にある理論を

経営学専攻は、企業活動のグローバル化、会計基準の国際的収斂、金融や情報技術の発展などといった、昨今の企業を取り巻く経営環境の大きな変動の中で、企業活動に関わる諸問題に経営・会計・財務・情報の立場からアプローチすることを目的としています。

本専攻は、企業経営に関する様々な問題を解決する方法を追究する「経営系」、会計情報を利用した管理・計画やその影響を分析する「会計系」、企業の財務政策や経営戦略に関わる諸問題に計量的手法で接近する「ファイナンス・情報系」といった3つの系からなります。

3つの系は企業活動の分析については互いに緊密な関係にあり、系の独自性を保ちつつ相互に関連性を持って教育・研究を行うことで、企業マネジメントや会計ファイナンスに関わる高度専門職業人や研究者の育成を目指しています。

主なリサーチ・ペーパー（RP）、修士論文、博士論文のタイトル、教員一覧

医療経済マネジメントコース所属教員

経営者コース所属教員

経営系

- RP** 中小企業が気づかないコアコンピタンス—名古屋市に実在する小企業から考察する—
- 修論** デジタルスポーツ観戦者の観戦動機に着目した構造分析—スポーツの観戦動機因子を用いて—
- 修論** ソーシャル・アントレプレナーによる社会的価値の創造—事例から見るソーシャル・イノベーションの創出と普及—
- 博論** 鉄道と百貨店—業態内変容のメカニズム—
- 博論** 商品アイデア創造に関わる個人特性と組織特性の機能的関係



鵜飼 宏成
専門分野：ベンチャービジネス論
アントレプレナーシップ
担当科目：企業論
現在の研究課題：アントレプレナーシップ教育プログラムの開発と教育評価



下野 由貴
専門分野：経営学、国際経営
サプライヤー・システム
担当科目：国際経営
現在の研究課題：グローバルサプライチェーン戦略



余 合 淳
専門分野：組織行動論、人的資源管理論
担当科目：経営管理
現在の研究課題：人事管理の公正に関する理論的・実証的研究



大神 正道
専門分野：技術マネジメント
担当科目：技術マネジメント
現在の研究課題：企業行動と技術進化



出口 将人
専門分野：経営戦略論、経営組織論
担当科目：経営戦略
現在の研究課題：地域レベルの事業転換についての研究



河合 篤男
専門分野：経営組織論、組織革新
担当科目：経営組織
現在の研究課題：企業革新に関する研究



山本 奈央
専門分野：マーケティング、消費者行動論
担当科目：マーケティング
現在の研究課題：インターネットが消費者行動に与える影響

会計系

- RP** リース会計基準の変更による財務情報への影響
- 修論** 確定決算主義と報告利益管理行動の分析
- 修論** バランスト・スコアカードによる戦略実行と効果測定
- 博論** 減配回避を目的とした報告利益管理行動の分析
- 博論** 経営者予想情報に対する市場の反応とガバナンス要因の分析



奥田 真也
専門分野：会計学
担当科目：管理会計
現在の研究課題：会計情報の質についての実証分析



高橋 二郎
専門分野：会計学
担当科目：財務分析
現在の研究課題：事業資産会計の構造と機能に関する理論的・実証的研究



吉田 和生
専門分野：財務会計
担当科目：財務会計
現在の研究課題：会計情報の研究

ファイナンス・情報系

- RP** J-REITにおける証券市場と実物不動産市場のキャップレートに関する関係性の基礎的検討
- 修論** 事業投資判断に関わるRNPVロジットモデルの基礎的検討—火力発電設備投資を題材に—
- 修論** オープンソース開発手法について—ソフトウェアからハードウェアへの展開—
- 博論** 社会的責任投資（SRI）のパフォーマンスと情報開示
- 博論** ICT 活用による教育サービスの改善—イノベーションの普及と組織的活動—



茨 木 智
専門分野：数理計画
オペレーションズ・リサーチ
担当科目：オペレーションズ・リサーチ
現在の研究課題：データの分類・同定に関する研究



坂和 秀晃
専門分野：コーポレート・ガバナンス
マーケット・マイクロストラクチャー
担当科目：応用企業ファイナンス
現在の研究課題：日本のコーポレート・ガバナンスに関する実証分析



渡辺 直樹
専門分野：コーポレート・ガバナンス
証券市場
担当科目：実証ファイナンス
現在の研究課題：証券市場・企業金融に関する実証分析



白杵 政治
専門分野：企業ファイナンス、年金論
担当科目：企業ファイナンス
現在の研究課題：金融危機の年金資産運用への影響、年金加入者の投資行動



爲近 英恵
専門分野：応用一般均衡モデル
応用計量経済学
担当科目：数量分析
現在の研究課題：環境政策に関する実証分析



河合 勝彦
専門分野：経済・経営情報学、計算経済学
担当科目：経営情報
現在の研究課題：フリー・オープンソースソフトウェアの経済分析



三澤 哲也
専門分野：統計解析、投資工学
担当科目：統計解析
現在の研究課題：プロジェクト事業投資の価値評価とリスク分析



徐 晨さん
(経営学専攻)

VOICE 修了生の声

日本の大学院で学んで

私が中国の大学を卒業して、日本の大学院に入学した動機は、日本の人々や街、文化をもっと知りたいと思ったからです。また、社会に出て働く上で、グローバルに通用する知識を得たかったからでもあります。

本大学院には、外国人研究生制度というものがあります。この制度では、正式に大学院生になる前の一年間に、学部授業を受けることができます。今振り返って考えると、研究生の時に学んだ知識が、大学院生としての基礎づくりになったと思います。

討論中心の大学院の授業はたいへん刺激的です。また、多くの社会人の方々も参加しているので、アカデミックな知識に加えて、彼らから実務的な知識も習得することができました。



山田 哲弘さん
(経営学専攻)

VOICE 修了生の声

柔軟なカリキュラムとハイレベルな研究会

研究者育成という点で、名古屋市立大学大学院には2つの大きな魅力があります。

1つ目はカリキュラムの柔軟性です。現代の研究は学際的になることが多く、研究の考え方や目的に適した効率的な学習が大切です。私は会計学を専攻していますが、大学院では考え方の基礎となるファイナンスや、分析手法として不可欠な統計学などを集中的・体系的に学びました。

2つ目の魅力は第一線の研究者を招いて開催される多様な研究会です。学内外の先生方との意見交換は、ときに厳しくもありますが、自身を大きく成長させるきっかけになったと感じています。学位取得後、私は大学教員として働いています。名市大で培った研究の基礎力は掛け替えのない財産です。

入試

説明会や入試の日程・募集人員などは、大学発行の募集要項および
本研究科のホームページをご覧ください。

大学院入試情報（経済学研究科）

▶ <https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/graduate/econ/index.html>

経済学研究科入試情報

▶ <https://www.econ.nagoya-cu.ac.jp/entrance/exam2>



博士前期課程

一般選抜

主に、大学を卒業した方、あるいは該当年度末までに大学を卒業見込みの方を対象とする入学試験です。

外国人特別選抜

外国人の方を対象とする入学試験です。詳しい出願資格については募集要項でご確認ください。

学部内選抜

本学経済学部在学中の4年生で、一定の条件を満たす方を対象とする入学試験です。

社会人特別選抜

※各コース含む

主に、大学卒業後3年以上が経過している方を対象とする入学試験です。各コースについては、別に必要な出願資格もありますので詳しくは募集要項でご確認ください。

総合特別選抜

※各コースは対象外

一般・外国人および社会人の方を対象とする入学試験です。詳しい選抜方法については募集要項でご確認ください。

「各コース」…医療経済マネジメントコース、経営者コースを指します。

博士後期課程

主に、修士の学位を有する方、あるいは該当年度末までに修士の学位を取得見込みの方を対象とする入学試験です。博士論文の完成に必要な研究を成就させる能力の有無に重点を置き選抜をします。なお、早期修了プログラムのご用意もありますので、詳しくは募集要項でご確認ください。



滝子キャンパス（山の畑キャンパス）

〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

Tel: (052) 872-5702

<https://www.econ.nagoya-cu.ac.jp/>

【利用交通機関】

◆名古屋駅から

地下鉄桜通線「桜山」駅下車(5番出口)

◆金山駅から

7番のりばより金山11号系統「池下」行き「滝子」下車

7番のりばより金山12号系統「妙見町」行き「金山」行き「滝子」下車

7番のりばより金山16号系統「瑞穂運動場東」行き「滝子」下車

8番のりばより金山14号系統(桜山経由)「瑞穂運動場」行き「滝子」下車